



みやこ

京まなびい News Letter ニュースレター

京都市教育委員会事務局生涯学習部

学べばもっと楽しめる!東京2020オリンピック・パラリンピック

いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック! 感動の舞台に今から胸が高鳴ります。海外からもたくさんの方が来られます。パラリンピックは、共生社会における「気づき」も多いことと思います。観戦はもちろん、精神や文化、多様性など、スポーツから様々なことを学んでみませんか?

京(KYO)も学んじゃおっ!「車いすフェンシング」編

車いすフェンシングってどんな競技?

歴史は古く、1960年のパラリンピック第1回大会から行われています。フェンシングと大きく異なるのは、「ピスト」と呼ばれる装置に車いすを固定し、選手同士の間合いを調整してから試合が行われる点です。距離は腕の短い選手に合わせられます。フットワークがない分、一瞬の駆け引きが勝敗を分け、スピーディな試合展開になります。

「車いすフェンシング体験会」に参加しました!



まずは選手によるデモンストレーションがありました。剣で相手の胴体の防具を突くと、ピーッという音とともに、電子掲示板のランプが点灯します。選手の剣さばきは早く、また、上半身全体で突くときには、約100kgもあるピストが浮き上がるほど力強く、迫力があります。かっこいい!

実際に体験させていただきました。車いすに乗って、いざ勝負…。防具もつけて、見た目はきまっていますが、いざ突こうとすると…あれ!剣が届かない!!上半身を乗り出して狙い通りに突くのは慣れていないと至難の業です。



選手にお話を伺うと、「距離が近いので、駆け引きや心理戦も重要だ」ということでした。防御かと思ったら突いてこられたり、その逆だったり。車いすフェンシングに限らず、応援する際には、今の競技ではどんな駆け引きや、心理戦が行われたんだろう、とか考えながら見るのも楽しいのではないのでしょうか。ぜひ、みなさんも、いろんな視点から応援してみてくださいね。

また、別の選手の方からは「障害は、生まれつきの方、中途の方など色々な人がいるが、こうして一緒にスポーツをしている。障害で動かなくなった部分もあるが、動く部分もある。目標を持って諦めないことが大切」とも話しいただきました。

体験を通して学んだこと

今回初めて挑戦した車いすフェンシング。健常者も障害者も一緒に楽しめるスポーツです。フットワークがいらないので、以前フェンシングをしていた方が、生涯スポーツとして楽しめることもあるとか。

誰もがスポーツを楽しんだり、スポーツを通して学んだり、いきいきと活躍できる社会について考える一日となりました!

京都に「ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点」があることをご存じですか?

「ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点」は、トップレベル競技者が集中的・継続的にトレーニング・強化活動を行うための活動拠点としてスポーツ庁が指定しています。

「車いすフェンシング」の拠点がJR京都駅のほど近く、元山王小学校の校内にあり、全国から集まった東京パラリンピックを目指す選手たちが練習されています。

NPO法人日本車いすフェンシング協会の小松眞一理事長にお話を伺いました。

「以前は障害者が利用できるスポーツセンターなどで練習をしていたが、競技に使うピストを持ち運ぶのが非常に困難だった。今は、京都市から元山王小を提供いただき、常設で設置させてもらえるのは非常にありがたい。京都駅からもアクセスが抜群で、全国から車いすの選手が集うのに大変助かっている。地域の方にも応援してもらっている。」

ここ、京都から世界で戦う選手が飛び立つというのがうれしいですね。みんなで応援しましょう!



「京(みやこ)まなびいニュースレター」の内容についてのお問合せ先

京都市教育委員会事務局生涯学習部(生涯学習推進担当) 京都市中京区富小路通六角下がる骨屋之町549(元生祥小学校)
TEL:075-251-0410 FAX:075-213-4650 メールアドレス:shogaigaku@edu.city.kyoto.jp

京まなびいニュースレター第25号 令和2年3月発行



京都市社会教育委員のコラム まなびいの つぼ

オリンピックの思い出

京都市社会教育委員 佐竹 美都子氏(株式会社西陣坐佐織代表取締役)



佐竹 美都子 プロフィール

京都教育大学附属高校、同志社大学卒業後、大手銀行に就職するもオリンピック出場を目指して退社。

2004年アテネオリンピックセーリング競技日本代表。

引退後は家業である西陣織製造業につく。メーカーとして製造、販売をしながら講演など、きもの振興にも取り組む。

いよいよ近付いて参りました東京2020オリンピック・パラリンピック。盛り上がりを見せた昨年のラグビーワールドカップに続き、56年ぶりにスポーツの祭典が日本で行われます。いつもはテレビの向こうのオリンピックが日本に来るとあって、直に観戦される方もいらっしゃるかもしれません。

私自身はオリンピックに対して、選手時代に訪れた海外での国際交流の場で、京都に生まれ育ちながら、自国の文化や家業の関わるきものについて、伝えることができなかった苦い経験があります。それをきっかけに、引退後は家業の西陣織製造業に就き、能楽や華道など日本文化を学ぶようになりました。

選手時代のことを思い出すと競技の思い出に加えて浮かぶのは、訪れた外国の街なみです。スペインの屋下がり、シエスタをカフェで過ごす人達、アテネの海岸で遊ぶ子ども達、イタリアの古い街なみの人々が集う教会

…。その景色に溶け込んだ自分を思い出すのは、メダルを持っていない私にとって、大切な記憶の宝物です。

引退後、東京オリンピック・パラリンピック誘致活動のお手伝いをきもので行った時はとても喜んでいただきました。2020年以降も中高年のオリンピックと言われる「ワールドマスターズゲームズ2021関西」があります。

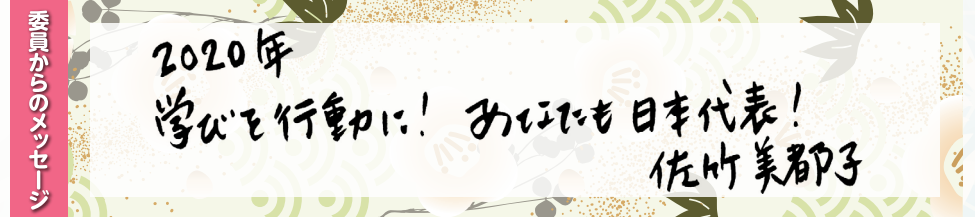
多くの外国人が訪れる京都の地に住む皆様、歴史や文化など学んだことをお伝えするおもてなしの行動を起こしてみませんか?

自国以外を応援したり、ボランティアしたり、きもので歩いたり、道案内に答えたり、なんでも良いと思います。2020年を機に自国を知り、発信の一步を踏み出し、参加して楽しんでいただきたいと思います。

「学びを行動に」日本文化や京都の歴史をお伝えする貴方も立派な「日本代表」ですよ。

※「社会教育委員」とは?

社会教育法に基づき、生涯学習の計画の立案をはじめ、家庭・地域の教育力の向上や京都の豊かな学習資源の活用など生涯学習全般に関し、教育委員会に助言を行います。(現在17名)



英語で道案内に挑戦してみよう!

《よく使えるフレーズ》(例)

- お手伝いしましょうか?
Can I help you?
- (目的地は) あちらです。
Your destination is there.
- ここから歩いて5分くらいです。
It's a five-minute walk from here.

『心のバリアフリー』ハンドブックより
(都市計画局歩くまち京都推進室作成)

『心のバリアフリー』ハンドブックには上記の英語での道案内や市内のバリアフリー事例のほか、高齢者、障害者等「すべての人」が笑顔で暮らせるように、心のバリアフリーを広げるちょっとしたお手伝い事例を紹介しています。

京都 心のバリアフリー 検索



情報満載!京(みやこ)まなびネット

ボランティアをしたい! スポーツを始めたい! という方に

京都市生涯学習情報検索システム「京(みやこ)まなびネット」は、市民の皆さんの学びをサポートする情報満載のサイトです。

京都で行われるイベント、講座、展覧会のお知らせやボランティア等の募集情報のほか、博物館やグランドなどの施設情報、生涯学習団体の活動情報を簡単に検索できます。サイト内で学べる動画や資料も配信中です!



京まなびネット 検索

スマホ用
サイトは
こちらから